2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	基礎学力講座・国語 (Basic Aptitude Course ; Japanese)		
ナンバリングコード	A00101	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / リメディアル 基礎科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 / 前期
必修・選択区分	選択		
授業コード	A031603	クラス名	工学部
担当教員名	東寺　祐亮		
履修上の注意、履修条件	これは選択科目ですが、入学時の日本語プレースメントテストで受講対象と判定された学生は必ず履修して下さい。なお、予習・復習には4時間以上の学習時間を使い、苦手箇所やわからないところを講義時に質問できるようにしておいてください。 小型の国語辞典または電子辞書を毎回持参することをすすめます。課題を行うために図書館の書物を活用してください。ノートも用意したほうがよいでしょう。授業中に教科書の練習課題を解いてもらいますので、教科書を持参するのを忘れないようにしてください。		
教科書	名古屋大学日本語研究会　GK7著　スキルアップ！日本語力～大学生のための日本語練習帳～(東京書籍)、基礎学力講座(国語)　予習・復習ワーク(NBU出版)		
参考文献及び指定図書	『三省堂国語辞典　第七版』(三省堂)、小学館辞書編集部(編)『日本語便利辞典』(小学館)、『国語力アップ400問』(NHK出版[生活人新書067])、『国語力もっとアップ400問』(NHK出版[生活人新書105])		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、文章表現基礎講座、英語1・2、情報リテラシー1・2		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト(期末試験・中間確認等)	提出物(レポート・作品等)	無形成果(発表・その他)
【関心・意欲・態度】	常に日本語に積極的な関心を持ち続け、読解力や作文力に必要な語彙の修養を志すこと。	35点		
【知識・理解】	新聞・雑誌の記事に現れる程度の漢字(熟語を含む)が読め、その意味がわかること。	35点		
【技能・表現・コミュニケーション】	誰が読んでもわかるような明快で論理的な文章を書くために必要な語彙を選択できる素養をを身につけること。	15点		
【思考・判断・創造】	日本語の持つ性格や特徴が的確に把握できること。	15点		

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

R認定:3分の2以上の出席があり、第15回目の全クラス共通判定試験で到達目標を達成し、合格基準に達する語彙力を有していること(合否は共通の試験のみで判定します)

○授業の目的・概要等		
授業の目的	基礎的な日本語力はあらゆる学習分野で求められる重要な要素です。大学初年度における日本語教育は4年間の勉学生活の土台を提供するとともに、卒業後の社会人が持つべき一般常識を養う側面をも有します。1年次前期の「基礎学力講座・国語」は大学での勉学に必要な最低限の日本語力の養成を図ることを目的としますが、それは同時にいずれ就職活動を行うに際して必要となるさまざまな種類の日本語表現の基礎となるものです。また、本科目は1年次後期の「文章表現基礎講座」(必修)への前段階としても有用であるため、多くの語彙力を身につけ、使えるようになりましょう。	
授業の概要	クオーター制で、週に2回の授業があります。 第1クオーターの第2回はこの科目のオリエンテーションになります。 前期に1stおよび2ndクォータ、後期に3rdおよび4thクォータの講義があります。 各クォータの終了時(第16回)に全クラス共通の試験を行い、合否を判定します。 それに合格しなかった人には続けて次のクオーター(第17回～第31回)を履修してもらいます。 なお、オリエンテーション以降の講義は2冊の教科書を並行して学んで行きます。 毎回、予習・復習ワークの課題演習があります。 なお、課題の解答および解説については毎回の講義時に行います。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

この科目の単位は卒業要件には算入されませんが、「基礎学力講座」の合格認定が工学部では「卒業研究」の、経営経済学部では「ゼミナールⅣ」の着手条件となります。ただし、外国人留学生にはこれは適用されません。また、この科目の単位は半期に履修登録できる単位数(上限25)に含まれます。

予習では、学習する内容の教科書を音読するとともに、読めない単語や言葉、意味が分からない言葉などはその都度、辞書を引いて調べておきましょう。

そのほかの参考文献
多くの語彙力を身に着けるために下記の図書も推奨します。
加納善光『漢字の常識・非常識』(講談社現代新書954)、荒川洋平『日本語という外国語』(講談社現代新書2013)、国広哲弥『新編　日本語誤用・慣用小辞典』(講談社現代新書2033)、川辺秀夫『22歳からの国語力』(講談社現代新書2035)、池上彰『日本語の「大疑問」』(講談社＋α新書6－1　C)、秋月高太郎『ありえない日本語』(ちくま新書524)、金武伸弥『王道日本語ドリル』(集英社新書0428E)、佐竹秀雄『日本語教室Q&A』(角川ソフィア文庫)、清水義範『日本語がもっと面白くなるパズルの本』(光文社文庫)、樋口裕一『本当に使える！日本語練習ノート』(PHP新書622)、朝日新聞出版(編)『日本語きほん帳』(朝日文庫)、高橋こうじ『クイズで楽しむ日本語のふしぎ』(新水社)、北原保雄『日本語どっち？』(金の星社)、タカハシマコト『その日本語、お粗末ですよ！』(宝島新書)、北原保雄『勘違いの日本語、伝わらない日本語』(宝島新書)、日本語検定委員会(編)『日本語検定3級公式練習問題集』(東京書籍)、日本語検定委員会(編)『ステップアップ日本語講座　中級』(東京書籍)

自主学習支援について
授業内容をより深く学習するためにeラーニングシステムを準備しています。パソコンやスマートフォンを利用して自主学習が出来ますので、積極的に活用してください。アクセス方法や詳しい使い方は授業中に説明します。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 ： 基礎学力講座・国語（Basic Aptitude Course ; Japanese ）　授業コード：A031603
担当教員： 東寺　祐亮

学修内容

1. オリエンテーション
1stクォータ ； プレイスメントテストによる習熟度クラスの決定を行います。高校までに学び、習熟してきた語彙力および日本語力の測定を行います。
2ndクォータ ； フレッシュマンセミナーの1回分を第1回目に読み替えます。
3rdおよび4thクォータ ； 前クォータで習得ができていなかった分野についての確認を共通試験の個別結果表を参考に確認を行います。

予習： これまでに学んできた漢字やことわざなどについて総復習（確認学習）を行っておいてください。（約2.0h）
復習： 苦手分野の確認をし、教科書および予習・復習ワークを見ながら学習スケジュールを立てましょう。（約2.0h）

2.
1stクォータ ； オリエンテーション。授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方などについて説明し、成績評価の方法にも触れます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第4章　第12回　部首・音訓・熟語の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、部首や音訓、熟語についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第1回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第1回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

3.
1stクォータ ； 第4章　第12回　部首・音訓・熟語の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、部首や音訓、熟語についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第4章　第13回　仮名遣い・送り仮名の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、仮名遣い・送り仮名についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第2回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第2回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

4.
1stクォータ ； 第4章　第13回　仮名遣い・送り仮名の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して仮名遣い・送り仮名についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第3章　第8回　類義語・対義語の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、類義語・対義語についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第3回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第3回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

5.
1stクォータ ； 第3章　第8回　類義語・対義語の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、類義語・対義語についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第3章　第9回　動詞の自他・視点の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、動詞の自他・視点についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第4回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第4回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

6.
1stクォータ ； 第3章　第9回　動詞の自他・視点の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、動詞の自他・視点についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第3章　第10回　文体、話し言葉、書き言葉の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、文体、話し言葉、書き言葉についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第5回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第5回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

7.
1stクォータ ； 第3章　第10回　文体、話し言葉、書き言葉の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、文体、話し言葉、書き言葉についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第3章　第11回　コロケーションの内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、コロケーションについての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第6回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第6回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

8.
1stクォータ ； 第3章　第11回　コロケーションの内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、コロケーションについての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第2章　第4回　品詞・活用の種類の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、品詞・活用の種類についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第7回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第7回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 ： 基礎学力講座・国語（Basic Aptitude Course ; Japanese ）　授業コード：A031603
担当教員： 東寺　祐亮

学修内容

9.
1stクォータ ； 第2章　第4回　品詞・活用の種類について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、部首や音訓、熟語についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第2章　第5回　ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第8回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第8回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

10.
1stクォータ ； 第2章　第5回　ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第2章　第6回　文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第9回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第9回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

11.
1stクォータ ； 第2章　第6回　文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第2章　第7回　接続語・指示語と文章の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、接続語・指示語と文章についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第10回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第10回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

12.
1stクォータ ； 第2章　第7回　接続語・指示語の係り受け・あいまい文について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、接続語・指示語の係り受け・あいまい文語についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第1章　第1回　敬語の種類と使い分けの内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、敬語の種類と使い分けについての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第11回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第11回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

13.
1stクォータ ； 第1章　第1回　敬語の種類と使い分けについて学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、敬語の種類と使い分けについての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第1章　第2回　注意すべき敬語の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、注意すべき敬語についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第12回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第12回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

14.
1stクォータ ； 第1章　第2回　注意すべき敬語および第1章　第3回　配慮を示す言葉について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、注意すべき敬語および配慮を示す言葉についての基礎を身につけます。
2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 第1章　第3回　配慮を示す言葉の内容について学習します。また、教科書の問題演習や予習・復習ワークの課題演習を通して、配慮を示す言葉についての基礎を身につけます。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワーク の第13回の予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク の第13回の復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）

15. 全クラス共通判定試験
全クラス共通の判定試験を行います。判定試験では皆さんの語彙力や日本語力（日本語活用力）が身についたかどうか判定するための実力試験となります。出題される語句については教科書や予習・復習ワーク以外からも出題されます。日ごろから多くの語彙を身につけ、活用できるように学習してください。

予習： これまでに学習した語彙や日本語以外も参考書などを利用して確認を行いましょう。（約2.0h）
復習： 予習・復習ワークで間違った苦手分野の復習課題の演習を行いましょう。（約2.0h）

16. 自己点検講義／振り返り学習
1stクォータ・2ndクォータ・3rdおよび4thクォータ ； 自己点検講義／振り返り学習です。苦手分野の確認とともに、第5章　第14回　総合問題について学習します。

予習： 教科書の内容を熟読し、問題演習および予習・復習ワークの自己点検予習課題演習を行いましょう。（約2.0h）
復習： 基礎学力講座（国語） 予習・復習ワーク自己点検予復習課題演習を行いましょう。（約2.0h）